



小中一貫校 南アルプス市立白根巨摩中学校

伝統からの創造

第 12 号

令和6年12月23日(月)

～思いやりの心と主体性・創造性を備えた巨摩中生の育成～

あと一週間ほどで新しい年がやってきます。みなさんにとって2024年は、どんな年でしたか。誰もが新しい年の平穏と多幸を願う元日16時10分、石川県能登地方でマグニチュード7.6、震度7の地震が発生、死者は災害関連死も含め、400人を超えました(11月26日付、消防庁)。夏には20年ぶりに新紙幣が発行され、パリオリンピック・パラリンピックが開催されました。秋には石破内閣が発足、ノーベル平和賞は、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)が受賞。核兵器のない世界を実現するための努力と核兵器が二度と使用されてはならないことを証言によって示してきたことが受賞理由ですが、今も核の脅威にさらされている世界にあって、被爆者の訴えを私たち一人一人がどう受け止めるか…にかかっています。来年は、広島・長崎への原爆投下から80年の節目の年を迎えます。真の平和とは…。自分を取り巻く世界を少しずつ広げてみると、いろんなつながりが見えてきます。そうやって想像力を働かせ、いろいろな見方や考え方が出来るようになることが、平和への第一歩であるように思います。2025年がみなさんにとって良い年となりますように…。

生徒会役員選挙

12月に入り、新生徒会役員を決める選挙活動がスタートしました。例年通り推薦人の協力を得て、立候補者は登校時の選挙運動を行いました。校舎北側で冷たい風が吹きつける中、どの候補者も気持ち良く「おはようございます!」「清き一票をお願いします!」と呼び掛けていました。

また、今年度は、選挙ポスターをICTを活用して作成したり、インフルエンザの蔓延防止を考慮し、立会演説会をリモートで行ったりしました。投票も初の試みとして、欠席者に対応するため「事後投票」を実施。いつもと異なる形での選挙となりましたが、無事に選挙を終えることができました。

当選した4名は、公約に掲げたことをぜひ具現化して欲しいと思います。また、全校生徒のみなさんは、支えるとはどういうことか、自分に何が出来るか、考え、行動して欲しいと思います。

なお、公正・公平な選挙を実施するために、念入りな準備をすすめてくれた選挙管理委員のみなさん、有り難うございました。



「国があなたのために何が出来るかを問うのではなく、あなたがあなたの国のために何が出来るのかを問うてほしい」(1960年、ジョン・F・ケネディは43歳の若さで第35代アメリカ大統領に就任。その就任演説の際、アメリカ国民にこのように訴えた)

第2回生徒総会



第2回生徒総会が12月16日(月)に開催されました。事前にクラスごとで議案書検討を行い、全校で今学期の成果と課題を確認しあいました。

その後、新生徒会役員の任命などを行い、新生徒会役員が発足。引継ぎ式では、生徒会長が堂々と、これまでの思いとこれからの執行部への期待を述べました。続いて、新生徒会長が、3年生への感謝の念と決意を発表。ここからまた新たな白根巨摩中学校の歴史が刻まれていくのだと、身が引き締まる思いになりました。

令和6年度生徒会スローガンは「輝き」。行事や部活動、授業や日々の活動を通して、全校生徒の輝く姿を見ることができました。一人一人の確かな成長を見ることができ、クラス、学年、全校の大きな成長を実感しました。本当にここまで、よくがんばりました。

今総会の話し合いを生かして、3学期も仲間とともに輝けるよう、みなで支え合いながら、生活していきましょう。

17日間の冬休みです

大晦日から元日へと一日、日をまたぐだけで、気持ちが入れ替わるような、新たな力をもらったような気持ちになります。日本は良き国ですね。

さて、明日から冬休みが始まります。3年生は受験シーズン到来。ぜひ、今できる限りのことをこつこつ積み重ねていってください。とにかくやるしかないのです。大丈夫、乗り越えられない人はいません。そのために、家族や仲間、そして先生方もついています。決して一人ではありません。自分を信じて、さあ行こう！

2年生の皆さん、いよいよ最高学年になります。時が過ぎれば、3年生になりますが、それでは意味がない。どんな3年生になりたいですか？君たちが先輩に求めてきた姿とは？この冬、最高学年になる覚悟を決めてください。そして、ふさわしい姿に近づく努力をしてください。何かひとつ行動を変えてみよう。パワーと優しさのある君たち青学年なら、君たちにしか創りあげることのできない白根巨摩中を築いてくれると、信じています。

そして1年生。心も体も大きく成長しました。何といっても仲が良い。何をやっても楽しそう。自分だけ、自分たちだけではなくて、みんなで楽しみたい、と思っている。そういう緑学年の雰囲気は素敵です。新3年生を支え、何より後輩に一番近い存在として、力を発揮してくれることを、期待しています。そのためには、気づいたことを声に出してみよう。気になること、もっと良くしたいと思うことを胸にとどめておかず、伝えてみよう。その気づきはクラス・学年にとどまらず、学校を動かす力となる、と確信しています。

1月10日(金)、元気よく登校してくる君たちに会えることを楽しみにしています。
良いお年を…。

(文責:教頭)